



総務省

特集

困ったら一人で悩まず 行政相談

MIC FOCUS

平成26年度

「電波の日・ 情報通信月間」

記念式典と
参加行事について

地方のかがやき

「みりよく壬力UP スマイルプラン」を掲げて

栃木県み壬ぶ生まち町



総務省の今。

本誌では、総務省が発表した調査結果に関するさまざまなデータや最新のトピックスなどを紹介していきます。



緊急消防援助隊を6,000隊規模に増強

今回、南海トラフ地震、首都直下地震の発生の切迫性や災害の特殊化等を踏まえ、基本計画を平成26年度から平成30年度までの計画として変更し、緊急消防援助隊の一層の充実強化を図ることとしました。(平成26年4月1日施行)

「緊急消防援助隊の編成及び施設の整備等に係る基本的な事項に関する計画」の変更
平成26年3月5日 消防庁 報道発表より



東日本大震災での緊急消防援助隊の活動状況

ピックアップ TOPICS

東日本大震災を上回る被害が想定される南海トラフ地震等に備え、大規模かつ迅速な部隊投入のための体制整備が不可欠であり、平成30年度の登録目標数を6千隊に大幅増隊。国家的な非常時を想定して、大規模火災、倒壊家屋からの救助、広域医療搬送を行うため、消火、救助、救急の主要3部隊を増強することとし、登録を積極的に推進。

緊急消防援助隊とは

●緊急消防援助隊は、平成7年阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、大規模災害等において被災した都道府県内の消防力では対応が困難な場合に、国家的観点から人命救助活動等を効果的かつ迅速に実施し得るよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築するため、平成7年6月に創設。
●この緊急消防援助隊は、平時時においては、それぞれの地域における消防責任の遂行に全力を挙げる一方、いったん我が国のどこかにおいて大規模災害が発生した場合には、消防庁長官の求め又は指示により、全国から当該災害に対応するための消防部隊が被災地に集中的に出動し、人命救助等の消防活動を実施するシステムである。

強化 POINT 1

緊急消防援助隊の6,000隊への大幅増隊

強化 POINT 2

ドラゴンハイパー・コマンドユニットの新設、車両等の開発

強化 POINT 3

緊急消防援助隊の機動力の強化

2 ピックアップ TOPICS

緊急消防援助隊を6,000隊規模に増強

4 特集 困ったら一人で悩まず

行政相談

10 MIC FOCUS

平成26年度「電波の日・情報通信月間」記念式典と参加行事について

14 CLOSE-UP MIC

平成26年度総務省所管予算が決定しました

20 地方のかがやき

「みりょく 壬力UP スマイルプラン」を掲げて 栃木県壬生町

ドラゴンハイパー・コマンドユニット 配備車両



大型放水砲搭載ホース延長車



大容量送水ポンプ車

※写真は、現時点でのイメージです。

東日本大震災での千葉県市原市や宮城県仙台市で発生したような石油コンビナート災害に対応するため、緊急消防援助隊に、特殊災害対応に特化したエネルギー・産業基盤災害即応部隊「ドラゴンハイパー・コマンドユニット」*を新設。
また、即応部隊の中核となるエネルギー・産業基盤災害対応型消防水システムを配備するとともに、エネルギー・産業基盤災害対応のための消防ロボットを研究開発。
*平成30年度までに、全国12地域に部隊配備予定。

東日本大震災の出勤状況

緊急消防援助隊出動決定後に緊急に出動・先遣し、被災地での救助・消火活動、さらには後続する緊急消防援助隊の活動に資する情報収集・提供を行う「統合機動部隊」を新設。(全国で50部隊程度)

●地震発生直後から、主な被災県である岩手県、宮城県及び福島県の3県に向けては、これら被災県以外の44都道府県の緊急消防援助隊の出動を指示指示に基づき出動は初めてのこと。
●平成23年3月11日から活動終了の6月6日までの88日間における派遣人員総数は、3万人をこえ、全消防職員(158,809人の5人に1人に相当)。
●航空部隊は、人命救助、空中消火及び情報収集等に、陸上部隊は消火、救助、救急活動等に従事し、現在までに把握している救助者数は5,064人(地元消防本部等と協力し救出したものを含む)。

- 1次出動指示 (3月11日)
- 2次出動指示 (3月11日)
- 3次出動指示 (3月12日)
- 4次出動指示 (3月13日)
- 5次出動指示 (3月14日)
- 6次出動指示 (3月25日)



東日本大震災時の応援都道府県



あなたの身近に 行政相談委員



行政相談委員とは

皆さまのお住まいの市(区)町村には、総務大臣から委嘱された全国約5,000人の行政相談委員がいます。皆さまの相談相手として、行政サービスに関する苦情、行政の仕組みや手続きなどに関する相談を受け付け、その解決のための助言や関係行政機関に対する通知などの仕事を無報酬で行っています。

Q どんなことが相談できるのですか？

A 「手続きが分かりにくい」、「行政機関の決定が不公平」、「安全性に欠ける公共施設がある」、「高齢者や障がい者への配慮に欠けている」、「職員の応接態度が悪い」などの行政に関する様々な相談を受け付けています。

Q どんな方が行政相談委員になっているのですか？

A 行政相談委員は、国民の皆さまの身近な相談相手として総務大臣から委嘱された民間有識者(ボランティア)です。行政相談委員は、各市(区)町村に1人以上配置されていて役所に関するお困りごとの相談を毎年約9万件(総務省の行政相談処理件数は全体で約17万件)受け付け、助言や関係機関に対する通知などを行っています。

Q どんな場所で相談所は開設されているのですか？

A 次のページで詳しくご紹介します。

おこまりなら まる まる くじょ ひゃくとおばん

TEL **0570-090110** [全国共通番号]

●最寄りの管区行政評価局・行政評価事務所につながります。●PHS、一部のIP電話等では、ご利用できない場合があります。●平日の夜間、土日・祝日(終日)は、留守番電話で対応しています。●ご相談のお電話は、相談内容の正確な把握のため、録音させていただいています。

電話による相談 <行政苦情110番>

インターネットによる相談

行政相談受付 検索

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/hyouka/soudan.html

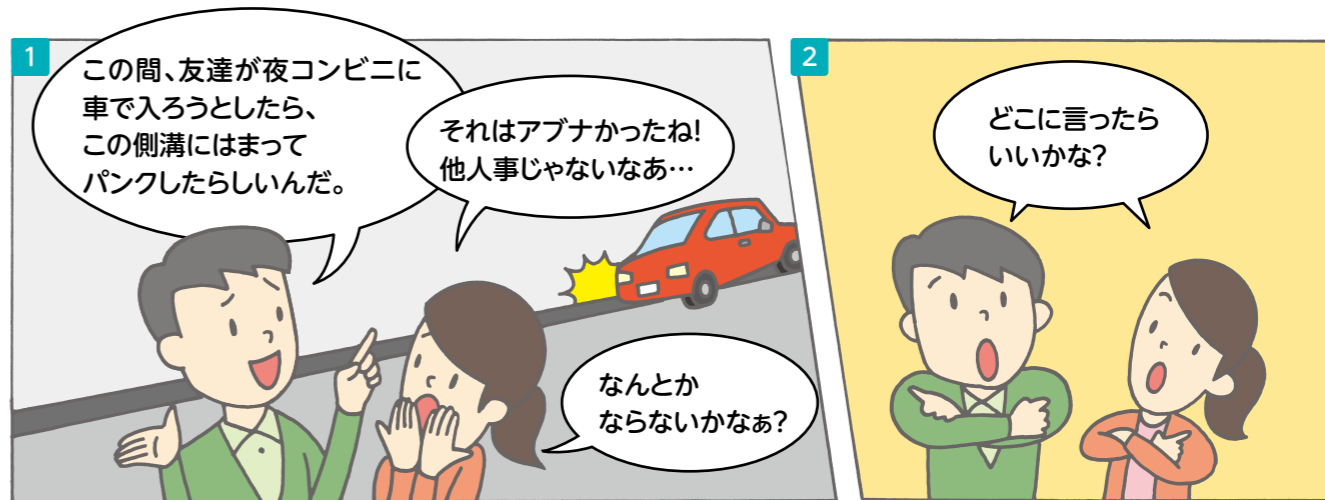
QRコード



困ったら一人で悩まず 行政相談

行政相談は、行政などへの苦情や意見、要望を受け付け、その解決や実現を促進するとともに、行政の制度や運営の改善に生かす仕組みです。
無料で相談でき、秘密は固く守られます。
相談内容も医療保険、年金、道路、社会福祉、雇用等多岐にわたっています。

行政相談ってなあに？



街の行政相談委員さんの存在を知り、相談することに・・・。



特集 困ったら一人で悩まず行政相談

イベント等でも行政相談のPRを行いながら相談所を開設しています。



▲白鷹町行政相談改善事例パネル展(山形)



▼岡山駅前での広報チラシの配布(岡山)



▲安堵町産業フェスティバル特設相談所でのPRグッズの配布(奈良)

あなたの身近な場所でご相談を受けています。



行政相談委員は、自治会、婦人会などの代表者や地域の方々との懇談会を開催し、行政に関する苦情や意見・要望をお聞きし、地域のお役に立っています。

行政相談懇談会



▲遠野市青笹地区行政相談懇談会(岩手)



▲小浜市口名田地区行政相談懇談会(福井)



大蔵村行政相談懇談会(山形)

行政相談出前教室



▲高岡法科大学出前教室(富山)



▲神戸市立千代が丘小学校出前教室(兵庫)

草加市立新田小学校出前教室(埼玉)

主な活動

行政相談所

行政相談委員は、公民館などの公共施設やショッピングセンターなど、地域の身近な場所で相談所を開設し、苦情や意見・要望を受け付けています。区域の広い市(区)町村や交通の不便なところでは、地域を巡回して相談所を開設しています。

また、民生委員、人権擁護委員などと合同で相談所を開設している場合もあります。



▲福田屋インターパーク店定例相談所(栃木)



▲大館圏域産業祭特設相談所(秋田)



▲勝山市立成器西小学校出前教室(福井)



▲福井市清水地区寿クラブ出前講座(福井)



▲いぶすき産業まつり特設相談所(鹿児島)



▲京王線橋本駅まちかど行政相談所(神奈川)

城里町特設相談所(茨城)

特集 困ったら一人で悩まず行政相談

事例 4 不動産担保型生活資金を利用したい。

相談内容

私は高齢者で生活が苦しく、不動産担保型生活資金を利用しようと思い、パンフレットを見たが、居住する不動産の評価額が1,000万円以上でなければ利用できないと書かれていた。何か利用できる支援制度を教えてください。

※不動産担保型生活資金:

低所得者の高齢世帯に一定の居住用不動産を担保として生活資金を貸し付ける資金。社会福祉協議会が実施。

改善結果

行政相談委員が調べたところ、要保護世帯向けの場合、居住する不動産の評価額が500万円以上であれば、利用できると分かりました。

行政相談委員と相談者が社会福祉協議会に行き、相談したところ、同資金を利用することができました。

事例 5 ゆうパック取扱所のコンビニでは持込割引を行ってほしい。

相談内容

日本郵便の「ゆうパック」のチラシには、コンビニ等の取扱所に荷物を持ち込むと、割引になると書かれているが、町内のコンビニに持ち込んだところ、「ここでは、割引をしていない。割引を希望する場合、郵便局に持ち込んでほしい。」と言われた。

コンビニは土日でも開いており便利なので、チラシどおり、コンビニでも持込割引をしてほしい。

改善結果

行政相談委員が確認したところ、隣接町のゆうパック取扱いのコンビニでも持込割引が認められていないため、行政評価事務所へ報告しました。

行政評価事務所が日本郵便に対し改善を要請した結果、チラシどおりの取扱をするよう指導が行われ、本件及び隣接町のゆうパック取扱いのコンビニで持込割引が行われるようになりました。

事例 6 高校での業者模試の下校中の事故に災害共済給付金を支給してほしい。

相談内容

高校での業者模試の下校中に交通事故に遭い、怪我をしたので、災害共済給付金(※)を申請したが、業者模試は給付金の対象外として、受け付けられなかった。

業者模試は、学校管理下で行われたので、災害共済給付金を支給してほしい。

※災害共済給付制度:

学校管理下で、児童生徒等が負傷、疾病等した際、医療等を支給するもので、独立行政法人日本スポーツ振興センターが運営。

改善結果

行政相談委員、行政評価事務所及び総務省行政評価局が調べたところ、日本スポーツ振興センターは、災害が学校管理下で生じたものかどうかは個別に判断するとしていますが、業者模試を一律対象外とする資料を配付していましたが、このため、行政苦情救済推進会議(※)に付議した結果を踏まえ、同センターに対し、学校等が誤解しないように配布資料を見直し周知徹底するよう、あせしました。

その結果、同センターは、業者模試での災害についても、学校管理下である場合、災害共済給付金の対象になる旨を学校等に周知しました。

※行政苦情救済推進会議:

総務省に寄せられた相談のうち、解決が困難なものについて付議。民間有識者で構成。



行政相談委員は、地域の困りごとから行政の制度・運営のことまでご相談を受け付けます。



行政相談委員による主な改善事例

事例 1 道路沿いにある郵便ポストを移設してほしい。



相談内容

道路沿いにあるポストの利用者がポスト前に一時停車している。ここは交通量が多く、一時停車は危険なので、何とかしてほしい。



改善結果

行政相談委員は現地確認の上、郵便局に改善を要請しました。その結果、ポストは同郵便局の駐車場付近に移設されました。

事例 2 国道の側溝に子供の足が入りそうな穴があり危険なので改善してほしい。



相談内容

国道の側溝蓋に直径10cm以上の穴が開いている。子供の足が入ったり、高齢者が穴につまずき転倒したりするなどの恐れがあるので改善してほしい。



改善結果

行政相談委員は現地確認の上、管区行政評価局に報告しました。管区行政評価局が国道事務所へ改善を要請した結果、穴はコンクリートで塞がれました。

事例 3 健康保険と国民健康保険の二重加入の可能性があるので、調べてほしい。

相談内容

市役所から国民健康保険証の更新通知が送られてきたが、私は、会社勤務なので、健康保険に加入しているはずである。健康保険と国民健康保険に二重加入している可能性があるため、調べてほしい。

改善結果

行政相談委員が市に調査を依頼したところ、相談者が勤める会社が健康保険の加入手続をしていないことが分かりました。

市が会社に連絡した結果、会社は相談者の健康保険の加入手続をし、相談者が健康保険料を遡及して納付したため、市は国民健康保険料を相談者に返納しました。

平成25年度 情報通信月間行事の様子

平成25年度の情報通信月間は、「元気をつなぐ、未来へ紡ぐネットワーク」をテーマとし、全国各地で情報通信に関する様々な行事が開催されました。

(平成26年度の参加行事については、P12-13をご覧ください。)

平成25年度 実施行事①

親子電波教室
(近畿総合通信局管内)



様々な実験や工作を通して、電波利用について楽しく学びます



ラジオの製作体験で完成後の動作テストに思わず歓声があがります

平成25年度 実施行事②

テレビ送出設備、スタジオ見学及びバーチャルスタジオ見学
(信越総合通信局管内)



番組放送準備中のスタジオで放送される仕組みなどを学ぶスタジオ見学



実際のテレビ番組制作方法に触れるバーチャルスタジオ体験

平成25年度 実施行事③

奥能登スマート観光プロジェクト体験バスツアー
(北陸総合通信局管内)



全国的にも名高い白米千枚田でスマホやタブレットを片手に能登の海風と絶景を楽しむ



観光スポットに向かって歩きながら、AR(拡張現実技術)による観光ナビを体験

))) 情報通信月間とは?

情報通信の普及・振興を図ることを目的として設けられました。5月15日～6月15日の期間中は、全国各地で様々な行事を実施し、豊かな生活を実現する情報通信について広く国民の理解と協力を求めていくこととしています。

))) 電波の日とは?

昭和25年6月1日に、電波法、放送法が施行され電波の利用が広く国民に開放されました。これを記念して国民各層の電波に関する知識の普及・向上と、電波利用の発展に役立つよう、6月1日を電波の日として制定したものです。

平成26年度「電波の日・情報通信月間」記念式典が行われます。

情報通信の発展に貢献した個人および団体に対して表彰を行います。

平成26年度 情報通信月間テーマ

「夢がひろがる、未来へつながる、ICTスマートライフ」



平成25年度電波の日・情報通信月間記念中央式典 表彰式の模様

表彰内容

1. 「電波の日」総務大臣表彰 (個人/団体)
2. 「情報通信月間」総務大臣表彰 (個人/団体)
3. 「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞
4. 「オープンデータ・アプリ」総務大臣奨励賞
5. 情報通信月間推進協議会会長表彰
(志田林三郎賞/情報通信功績賞)

総務省は、第64回「電波の日」(平成26年6月1日)および平成26年度「情報通信月間」(同年5月15日から6月15日まで)にあたり、6月2日に記念中央式典を行うこととしています。

記念中央式典においては、電波監理、電波利用または情報通信の発展に貢献した個人および団体に対して、総務大臣、情報通信月間推進協議会会長から表彰を行うこととしています。

情報通信月間の期間中は、「夢がひろがる、未来へつながる、ICTスマートライフ」をテーマに、情報通信月間推進協議会と総務省が一体となって、全国各地で情報通信に関するデモンストラーション、各種セミナーおよびシンポジウム等の多彩な行事を開催していきます。それら行事を通して、情報通信の発展が人々の利便性を高め、経済発展に寄与すること等について、国民の皆さまのご理解を求めていきたいと考えています。

平成26年度情報通信月間のテーマである「夢がひろがる、未来へつながる、ICTスマートライフ」には、ビッグデータ・オープンデータなどの豊富な情報を基に、生活に夢がひろがり、夢が未来につながっていく、ICTを活用したスマートな生活が実現するとの期待を込めています。

四国総合通信局管内

香川県 **オープンデータセミナーin高松**
 5月14日(水) / e-とぴあ・かがわ BBスクエア(高松市)
 オープンデータに対する取り組み事例を紹介し、一層の利活用を推進するためのセミナー

愛媛県 **海上交通の安心・安全に関する記念講演会**
 5月23日(金) / ピュアフル松山(松山市)
 海上交通の最前線で活躍する講師を招き、現状や情報通信の活用による安心・安全なシステムについて講演

香川県 **ICTを活用した街づくりセミナー**
 ~四国管内事業成果の紹介~
 5月29日(木) / e-とぴあ・かがわ BBスクエア(高松市)
 3地域で実施したICT街づくり推進事業の取組成果の紹介

九州総合通信局管内

福岡県 **防災ラジオ組み立て教室**
 6月8日(日) / 北九州市
 防災ラジオの製作体験と「防災の心構え」を学ぶ

福岡県 **スマートICT利活用セミナー(仮称)**
 7月 / 福岡市
 スマートICTの利活用を促進するセミナーを開催

熊本県 **わいわいkid's2014~"光"ブロードバンドを活用した遠隔コミュニケーション~(仮称)**
 6月下旬~7月上旬 / 熊本県
 超高速光ブロードバンドで遠隔コミュニケーションを体感

沖縄総合通信事務所管内

沖縄県 **平成26年度情報通信月間講演会(仮称)**
 6月中旬 / 那覇市
 情報通信の普及・振興を図るための、情報通信に関する講演会

沖縄県 **防災通信講演会**
 5月20日(水) / 沖縄産業支援センター(那覇市)
 非常災害時の有効な情報伝達のあり方や防災・減災のためのICT利用に関する講演会



東海総合通信局管内

静岡県 **情報通信フロンティアセミナーin静岡**
 5月30日(金) / ホテルセンチュリー静岡(静岡市)
 シャドール対策やWi-Fi事業の最新事例を紹介

愛知県 **情報通信セミナー2014**
 6月11日(水) / 名古屋ガーデンパレス(名古屋市)
 ハイブリッドキャスト技術など高度な放送サービスの最新動向を探る

北陸総合通信局管内

石川県 **G空間シティ・ICT街づくり推進セミナー**
 6月 / 能美市
 準天頂衛星等の最新動向の紹介と研究施設の見学会

富山県 **教育情報化推進フォーラムin富山**
 5月 / 富山市
 ICTを活用した教育の情報化に関する取組紹介

福井県 **青少年安心・安全ネットづくりセミナーin福井**
 6月9日(月) / 福井市地域交流プラザ(福井市)
 青少年のスマホ利用の実態とネット依存の事例及び対策

近畿総合通信局管内

大阪府 **4Kフェスタ2014**
 5月22日(木) / 関西テレビ アリーナスタジオ(大阪市)
 4K&8Kスーパーハイビジョン技術セミナー等・4Kシアター視聴体験

大阪府 **メディアのツボ2014講演会**
 6月6日(金)、6月13日(金) / MBS本社(大阪市)
 これからのテレビ・ラジオは通信との連携の中で暮らしをどう変えるのか

京都府 **近畿情報通信講座**
「ICTを活用した緊急情報提供システムの動向」
 6月下旬 / 京都市
 防災情報など、情報提供システムの動向についての講座

中国総合通信局管内

広島県 **中国地域におけるICT利活用セミナー**
 7月中 / 広島市
 G空間情報やビッグデータ等の地域利活用についての講演

広島県 **情報セキュリティ政策と個人情報保護セミナー**
 5月22日(木) / 広島市
 情報セキュリティ政策の現状と個人情報保護の取組についての講演

山口県 **マルチメディア講演会**
 6月4日(水) / 山口市
 情報通信分野の最新動向についての講演

平成26年度 情報通信月間 参加行事のご案内

「夢がひろがる、未来へつながる、ICTスマートライフ」をテーマに
 全国各地でイベントを開催いたします。
 お近くのイベント会場に足を運んでみてください。

ここでご紹介したもの以外にも、
 沢山の行事が予定されています。
 行事の一覧は
<http://www.jtgkn.com/>
 (情報通信月間のホームページ)を
 ご覧ください。



関東総合通信局管内

千葉県 **千葉県地域IT化推進協議会総会・ちばIT利活用セミナー**
 5月27日(火) / プラザ菜の花(千葉市)
 自治体職員、企業及びNPO法人に地域IT利活用の普及啓発を図るための講演会・展示会

東京都 **ワイヤレス・テクノロジー・パーク2014(WTP2014)**
 5月28日(水)~30日(金) / 東京ビッグサイト(港区)
 無線通信技術の研究開発を行う官民が集まり、技術の事業化や標準化推進、国際競争力強化を促進

東京都 **iPOP 2014(第10回IPと光ネットワークに関する国際会議)**
 5月22日(木)~5月23日(金) / NTT武蔵野研究開発センター(三鷹市)
 光技術とインターネットプロトコル技術の融合によるブロードバンド社会実現を目指した技術と標準化に関する国際会議

信越総合通信局管内

長野県 **ICTに関する講演会**
 5月26日(月) / メルパルク長野(長野市)
 情報通信の普及促進に寄与する講演会

新潟県 **ブロードバンド利活用セミナー**
 6月13日(金) / チサンホテル新潟(新潟市)
 ブロードバンド利活用の推進のためのセミナー

新潟県 **地域オープンデータ戦略セミナーin新潟**
 6月中旬 / 新潟市
 オープンデータの活用事例などを紹介するセミナー

北海道総合通信局管内

北海道 **ビッグデータ・オープンデータ利活用推進セミナー(仮称)**
 5月27日(火) / 札幌市
 ビッグデータ・オープンデータの推進に向け、現状や先進事例等を紹介

北海道 **電波有効利用促進セミナー(仮称)**
 6月13日(金) / 札幌市
 地域に役立つ電波利用の促進をテーマとしたセミナー

東北総合通信局管内

宮城県 **ICT推進フェア2014 in東北**
 5月28日(水)~29日(木) / せんだいメディアテーク(仙台市)
 ICTの最新情勢・関連施策の今後の動向をテーマとした講演会・展示会

岩手県 **いわてICTフェア2014**
 6月6日(金) / アイーナ(盛岡市)
 東日本大震災津波からの復興や地域活性化に役立つICTの利活用について、最新の技術・製品を体験できる展示・講演会

福島県 **情報通信月間特別講演会**
 6月6日(金) / ホテルサンルートプラザ福島(福島市)
 ICTの最新情勢や関連施策に関する今後の動向をテーマとした講演会

東日本大震災復興特別会計 ※総務省関係分

5,801 億円

「東日本大震災復興特別会計」は、復興に係る国の資金の流れの透明化を図ること等を目的に設けられた会計です。総務省関係では、東日本大震災の復旧・復興事業の地方負担分及び地方税の減収分等を全額措置するための震災復興特別交付税及び譲与税配付金特別会計へ繰り入れるために必要な経費や、被災地における消防防災体制の充実強化、災害に強いインフラの構築等に必要経費を計上しました。

(単位：億円)

区分	平成26年度 予算額 A	平成25年度 当初予算額 B	比較増減額 (A-B)C	増減率 (C/B)%
総務省所管計上額	5,723	6,053	▲ 330	▲ 5.4
復興庁所管計上額	78	79	▲ 1	▲ 1.4
総務省関係費合計	5,801	6,132	▲ 331	▲ 5.4

※ 計数はそれぞれ四捨五入しているため、計が一致しない場合がある。

組織別予算額

(単位：億円)

区分	平成26年度 予算額 A	平成25年度 当初予算額 B	比較増減額 (A-B)C	増減率 (C/B)%
総務本省	168,763	171,969	▲ 3,206	▲ 1.9
管区行政評価局	110	116	▲ 6	▲ 5.2
総合通信局	121	114	7	6.4
公害等調整委員会	6	5	1	19.2
消防庁	127	125	2	1.4
総務省所管合計	169,127	172,329	▲ 3,202	▲ 1.9

※ 計数はそれぞれ四捨五入しているため、計が一致しない場合がある。

平成26年度

総務省 所管予算が
決定しました

平成26年度予算については、デフレ不況からの脱却・経済再生と財政健全化をあわせて目指すという政府方針のもと、総務省が果たすべき課題を大きく、民間投資を喚起する成長戦略、国・地方を通じた財政健全化・地方分権改革の推進の二つと認識し、これらの課題に対応するために策定した総務省のミッションとアプローチの実現に向けた取組を推進するための予算として編成しました。

一般会計 平成26年度予算

16兆9,127 億円

(単位：億円)

区分	平成26年度 予算額 A	平成25年度 当初予算額 B	比較増減額 (A-B)C	増減率 (C/B)%
地方交付税等財源繰入れ	161,424	163,927	▲ 2,503	▲ 1.5
一般歳出	7,703	8,402	▲ 699	▲ 8.3
恩給費	4,217	4,787	▲ 570	▲ 11.9
その他政策的経費	3,486	3,615	▲ 129	▲ 3.6
総務省所管合計	169,127	172,329	▲ 3,202	▲ 1.9

※ 計数はそれぞれ四捨五入しているため、計が一致しない場合がある。
※ 平成25年度当初予算額のその他政策的経費には、参議院議員通常選挙関係経費504億円を含む。

5つのミッションの実現に向けて

Mission II

命をまもる

4. 東日本大震災からの復興の着実な推進 **5,801.0億円**

- 震災復興特別交付税の確保 **5,723.3億円**
- 被災地における消防防災体制の充実強化 **38.9億円**
- ICTによる復興の推進 **38.8億円**

5. 国民の命を守る消防防災行政の推進 **104.6億円**

- コンビナート災害等に対応した緊急消防援助隊の機動能力の強化 **58.6億円**
- 地域の消防防災体制の充実強化 **25.1億円**
- ICTやG空間情報を活用した災害対応力の強化 **15.3億円**
- 大規模地震に備えた予防対策等の推進 **5.8億円**



Mission I

元気をつくる

1. 活力ある地域づくりを通じた新しい成長の実現 **170,451.4億円**

- 地域の元気創造プラン **25.8億円**
- 地域の自立促進等(過疎地域等の条件不利地域を含む) **10.8億円**
- 地方財政の健全化と自立促進 **170,414.7億円**

2. 経済再生に貢献するICT成長戦略の推進 **1,059.7億円**

- ビッグデータ・オープンデータの利活用の推進等 **47.9億円**
- G空間×ICTの推進 **14.0億円**
- 世界最高レベルの通信インフラの整備 **6.6億円**
- ICT産業の国際競争力強化 **991.3億円**

3. 新たな市場創出のための国際展開の推進 **56.0億円**

- 地デジ・ICTインフラの海外展開 **56.0億円**



11. 効率的で質の高い行政の実現 **188.5億円**

- 行政運営の改善、効率化 0.8億円
- 行政の透明化・国民の権利利益の救済の強化 1.3億円
- 政策評価と行政事業レビューの連携強化等 9.3億円
- 公的統計の体系的な整備、電子化・オープン化の推進 177.0億円

12. 地方分権改革の推進 **170,048.5億円**

- 大都市制度の改革 0.1億円
- 地方中枢拠点都市による新たな広域連携の構築等 1.3億円
- 税収が安定的で偏在性の小さい地方税体系の構築 170,047.1億円

13. その他の主要事項 **320.1億円**

- 政党交付金 320.1億円

Mission V

国
の
仕
組
み
を
つ
く
る



6. 国民本位の電子行政の実現と番号制度の導入 **477.7億円**

- 電子行政の推進 130.7億円
- 個人番号制度の導入 347.0億円

7. ICTによる社会的課題の解決と豊かな生活の実現 **25.9億円**

- 超高齢社会への対応 14.1億円
- 資源探査及び社会資本整備支援 3.5億円
- 教育分野におけるICTの活用 6.2億円
- 高度道路交通システム(ITS)の推進 2.1億円

Mission III

便
利
な
生
活
を
つ
く
ら
し
を
つ
く
る



Mission IV

み
ん
な
の
安
心
を
ま
も
る

8. 国民生活の安定・充実 **4,262.2億円**

- 恩給支給や公的年金の適切な運営 4,262.2億円

9. ICTの安心・安全の確保 **32.1億円**

- サイバーセキュリティの強化 14.1億円
- 安心・安全なICT利用環境の整備 6.1億円
- 放送ネットワークの強靱化等 11.9億円

10. 郵政民営化の着実な推進 **3.9億円**

- 郵政事業の新たな展開とユニバーサルサービスの確保 3.9億円



生町では新たな特産品づくりに取り組んでいます。それが王生菜と同じ名をもつ野菜「王生菜」。そもそも同じ地名の京都・壬生地区で古くから栽培されている京野菜で、最近、八百屋さんの店頭でもよく見かけるミズナの一種でもあります。それを壬生町の名とともに、全国に広めようというのがブランド化のための戦略。現在、試験栽培とともに、菜飯や玉子炒め、煮浸しなどレシピづくりなども進め、まずは京浜地域での販売拡大を目指しています。

わが町自慢

町のブランド化に向けて、王



「おもちゃのまち」。ひらがな7文字からなるこの愛らしい名称を目にしたことがある人は多いのではないだろうか。住所でいうならば、栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまち。そう、今回ご紹介する壬生町の北東部にあたるれっきとした地名なのです。町内を走る東武鉄道宇都宮線には同名の駅もあります。

そもそも昭和40年、立地条件が悪くなった東京の下町から玩具工場が集団で移転してきたことが始まりでした。

おもちゃ工業団地の誕生から

「おもちゃのまち」が未来に向かって動き出す、壬力アップのまち創り。

「おもちゃ」を観光資源に

ところが時代が平成になると、工場を海外へと移転する玩具メーカーが増えて、おもちゃ工業団地の様相が変わり始めました。そこで壬生町では「おもちゃ」を生かした新たな町おこしに取り組みしました。そうして平成7年には、地域総合整備事業債を活用して建設した「壬生町おもちゃ博物館」がオープンしました。

博物館の企画や運営にあたっては、おもちゃ工業団地の協同組合にも力を借り、これまで2回のリニューアルを実施。希少なブリキのおもちゃなどさまざまな玩具の展示、北関東最大級の鉄



壬生町おもちゃ博物館
マスコットキャラクター
壬雷ちゃん

道ジオラマ、大型遊具など「見て、体験して、遊べる」博物館として、いつでも子どもたちの笑顔であふれています。

また、37.2ヘクタールという広大な総合公園「とちぎわんぱく公園」と隣接しており、北関東自動車道のICからも近く、親子連れが一日過ごすにはまさにぴったりの環境。おもちゃ博物館には年間約20万もの人が訪れています。

栃木県

みぶ まち
王生町

地方の
かがやき



「おもちゃのまち」は今、「壬力UPスマイルプラン」を掲げて、希望に満ちたまち創りに邁進しています。

壬生町おもちゃ博物館

PROFILE

人口…39,912人 (平成26年3月末現在)
面積…61.08km²
HP…<http://www.town.mibu.tochigi.jp/>

栃木県



壬生町の歴史

壬生町は、栃木県の中南部、東京から北に約90kmの距離にある町です。おもちゃ工業団地の誘致をきっかけに生まれた「おもちゃのまち」の地名で全国に知られ、また、獨協医科大学を核とした「メディカルタウン」という特長も持っています。町内を東武鉄道宇都宮線が縦断し、北関東自動車道壬生ICを経て高速道路網に直結するなど交通の便にも優れ、宇都宮市や栃木市のベッドタウンにもなっています。一方、産業面ではイチゴやトマト、ニラなど特産となる農産物も多く、農工商のバランスのとれたまち創りを目指しています。

郷土EYE

蘭学のまち 藩校開学 300年記念



平成25年10月22日、「明日を担う壬生の子どもたち“1000人の論語大朗読”が壬生町の中央公民館で開催されました。

このイベントは、かつて壬生の地にあった、栃木県最古の藩校「学習館」の開学300年を記念して行われたもの。当時の壬生藩主、鳥居忠英は論語の学習を重んじ、その想いが早期の藩校設立につながったといわれています。以来、壬生では先人の教えを守り、町内の小中学校で論語抄を配布するなど論語の学習に熱心に取り組んでいます。

当日は、小学校の児童1,000名をはじめ多くの町民が一堂に集まり、「子いわく、学びて時に之を習う」と朗々とした声が会場内に響き渡りました。

とちぎわんぱく公園内 花壇



甘さたっぷりの「とちおとめ」。みぶの妖精の代表格



特産の苺ジャムを使用し、むつみの森で作ったパンの缶詰



太陽が宿り、健康にも良いとされるトマトも、みぶの妖精のひとつ



高度な医療技術を誇る特定機能病院、獨協医科大学病院



みぶまち・獨協健康大学講座風景

壬生町は「^{みりょく}壬力UPスマイルプラン」のもとで次の未来へのチャレンジを続けています。



みぶハイウェイパーク・道の駅みぶ

町の特産品の ブランド化

壬生町が全国に知られているのは、「おもちゃのまち」としてばかりではなく、もう一つ特産品として「かんぴょう」があります。その歴史は古く、町に「かんぴょう」が伝来したのは約300年前。現在では、町と周辺4市町で全国の95%を生産するという規模にまで大きく育っています。こうした町の代名詞となるものを一つでも多く創り出して、いこうと今、農産物のブランド化にも力を入れています。

壬生町は、町内で収穫されるイチゴやトマト、ニラなどの主要農産物を地域ブランドとして確立するため、農産物全般に「みぶの妖精」と名付けて商標登録し、壬生産農産物のPR活動をはじめました。また、認知度を高める観点から、「みぶの妖精」のイメージキャラクター「ミーナ」を作製し、この愛らしいキャラクターとともに地域ブランドを広める活動に取り組んでいます。



就労支援施設「むつみの森」で、壬生産のとちおとめと砂糖だけで作った苺ジャム



農産物地域ブランド「みぶの妖精」キャラクターミーナ

め、壬生町の新たな特産品づくりを進めています。これら農産物のPRに一役買っているのが、「みぶハイウェイパーク・道の駅みぶ」。その名の通り、高速道路からも一般道からもアクセスできる複合施設です。北関東自動車道のパーキングエリアに車を駐車して、そのままわんぱく公園やおもちゃ博物館を利用できる仕組となっており、壬生町の新しい玄関口としての役割も担っています。

健やかにくらす メディカルタウンへ

壬生町はまた、「医療のまち」でもあります。昭和48年に獨協医科大学を誘致し、現在では獨協医科大学病院や栃木県のドクターヘリ基地があり、人口あたりの医師数も全国でも上位にランクされます。

そんな特長を生かした健やかなまち創りにも力を入れています。そのひとつが、獨協医科大学と連携した「みぶまち・獨協健康大学」。これは町民に医療や健康に関する学びの場を提供しようという取組で、昨年行った第1回目の講座では瞬く間に参加者が集まったそうです。壬生町では現在、こうした取組をはじめとする新しい総合振興計画を進めています。その名は「壬力UPスマイルプラン」。魅力(壬力)あふれる町を目指して、壬生町はチャレンジを続けていきます。



県内唯一のドクター・ヘリ

アイ・シー・ティー

ICTでひろがる 未来の夢

ICTによる便利で安心な
活力ある社会の実現

ビッグデータ・オープンデータなど、
豊富な情報を有効活用することで
私たちの生活に夢がひろがり、
安心で元気な日本を実現します。



ICTで実現する日本の元気・安心・便利

元気あふれる日本をつくる

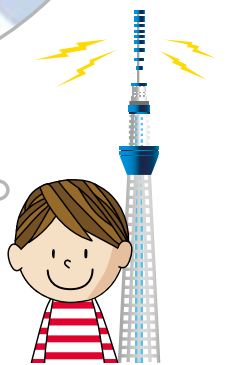
- ICT成長戦略で経済再生に貢献
- 国際展開で新たな市場の創出
- ICTで新しい付加価値産業を創出

大切な命をまもる

- ICTによる復興の推進
- ICTを活用した災害対応力の強化
- 災害に強い情報通信基盤の整備

便利で安心な暮らしを

- ICTによる社会的課題の解決
- ICTによる豊かな生活の実現
- 安心・安全なICT利用環境の整備



6月1日は
電波の日

5月15日～6月15日は
情報通信月間

[テーマ] 夢がひろがる、未来へつながる、ICTスマートライフ